

「達人マルシェ」に向けて

商業を学んでいる高校生のマーケティングスキルを向上させるために、島根県商業教育研究会が主催して、昨年「第 1 回島根県高等学校商業達人 CUP」が開催されました。今年度も 2 回目となるこの大会を開催するよう計画されていましたが、感染症対策等により小売業者の販売手法がこれまでと違った形で行われており、従来どおりの“競技”という形での実施は難しいという判断から、中止となったようです。

しかし、商業を学ぶ生徒にとってこのような状況下であっても、どうやって商売を成り立たせるかを考え、実行させることは、問題解決能力を高めることになります。また、新しい販売手法を学び実践するスキルを身につけることにつながり、変化の激しい今の時代にどう対応していくかという対応力や創造力を向上させることにもなると考え、出雲商業高校と共同で今回の「達人マルシェ」を計画し、これまで準備してきました。



商品の仕入れ、売価決定、商品陳列などのマーケティングスキルを専門家の指導を受けながら身につけること。そして、大手百貨店やショッピングモール等で実践されている感染症対策に対応した販売手法を学び、実際に販売活動を行うことで、場所や顧客ターゲットに応じた対応ができるようになること。この 2 つを目標・目的としました。

昨日（10月7日）、ビジネス系列の3年生と農業系列の3年生と一緒に今回の販売に向けて準備をしていました。本校で加工・生産されたジャムやパンなどの生産品の特徴を、農業系列の生徒からビジネス系列の生徒がレクチャーを受け、商品理解につなげるための実践です。一つの学校内に農業・商業を学ぶ生徒がいてそれぞれの学びを交換しあう、伝授し合うといった総合学科ならではの取り組みです。糖度のことだとか、原材料のことや、作り方、製造に込めた思いなどを共有したようです。

10月10日(土)に、出雲大社駅前縁結びスクエアで、神在月の観光を目的として訪れる県内外の20～30代の女性をメインターゲットとした販売を計画しています。さらに、10月17日(土)は、ラピタ出雲店センターコートでは、最寄り品を買い求める比較的年配の方をメインターゲットとした販売実演を行う予定です。

商農連携で本校の魅力を伝えることができ、目標を達成することができるでしょうか？
楽しみです！

